

この社会で「なんとかしたい大切なこと」にアプローチ

BumB 東京スポーツ文化館「チャレンジ・アシスト・プログラム」

今年の3月に開館したBumB東京スポーツ文化館では若者の社会参加をサポートする社会教育事業「チャレンジ・アシスト・プログラム」を実施しています。この事業は若者のグループが企画・提案する活動を公募し、審査の上、優秀な企画・提案には、その実現に向けて事業費の助成や活動場所の提供をするというものです。

助成の対象となる活動は、

人とつながる活動

この社会の中で「なんとかしたい大切なこと」にアプローチする活動

新しい価値を生み出す何かを作り出す活動、です。

今年度は32グループの応募がありました。11グループが書類審査を通過し、6月20日に夢の島の東京スポーツ文化館で公開プレゼンテーションに臨みました。社会貢献度、独自性、実現可能性、意欲、表現力などを総合的に評価した結果、5つのグループが選ばれました。

5つのグループは助成を受けて、来年の2月末までの間に事業を実施、その結果は3月11日に東京スポーツ文化館で報告されることになっています。

この事業に関するお問い合わせは

「BumB東京スポーツ文化館」(電話03-3521-7321

ホームページ▶ <http://www.ys-tokyobay.co.jp>)へ

クーピーピックアート企画

養護学校等の協力を得て公募した絵から神奈川県立瀬谷養護学校高等科の川端貴之さんの絵が選ばれ、7月10日・11日、代々木公園で巨大キャンパスにビッグアートを作成。キャンパスへの下書きと色の配合はこの企画にボランティア参加しているアーティストが行い、色塗りは来場した人々に趣旨を説明しながら協力を依頼しました。



完成したビッグアート 7月11日 代々木公園にて

里山冒険塾

「子どもたちに自然の中で思い切り遊んでもらいたい」そんな思いから、平成15年度からはじまったプロジェクト。今年度は6回の計画で、既に「筍(たけのこ)掘り」「泥田んぼ遊び」



今年4回目のイベント「森のくまさんヤッホッポ - 山から僕んち見えるカナ!?」10月24日 檜原村浅間嶺にて

「野外キャンプ」を実施。10月24日には、檜原村浅間尾根で「山遊び」を行いました。12月と2月には林業体験を中心にしたプログラムを計画しています。

今年度助成を受けて事業を実施しているグループ

グループ名	企画名	内容
内閣府非営利活動法人 クーピーファッションアート	クーピー ピックアート企画	代々木公園で行われる「アースガーデンイベント」として5m×5mの絵の製作。障害者の書いた原画を拡大し、来場者に色を塗ってもらう。普段、障害者や障害者美術に触れることのない人に理解や興味をもってもらうきっかけとする
WB - Students 開発教育チーム	「開発教育のすゝめ」	小中高校生を対象として、メンバー各自の経験を基にした開発教育ワークショップの作成、実施。
AKARI	協同スペース“こもれび荘” 改装計画	“こもれび荘”を利用するホームレスやひきこもり等の人が、人間関係のあり方等を見つめ直す機会を提供する。(本誌4ページで詳しく紹介しています。)
裏山冒険部	里山冒険塾	自然の中で遊んだことのない子どもたちに遊び場をというコンセプトで全4回のプログラム。日帰り3回、1泊2日1回。対象小学生から中学生
Sports of Japan (SOJ)	SOJサミット(仮称)	スポーツ界の分野の違いや枠を越えて人々が集まることにより、各分野の視点からスポーツを多面的にとらえ、これからのスポーツ文化の形を探求し、提案する。